

実施レポート

OITA EARTH COLLEGE

第1回ワークショップ

講師

日本文理大学 工学部 建築学科
中西 章敦 教授

2025年8月22日（金）10:00~15:00
OAB別館 参加者 9名

10:00~12:00

チームビルディングと 質問力向上ワークショップ

- 1、自己紹介大会
- 2、アイスブレイク

〇〇といえば？共通のテーマについて、ネット投票を行い、イメージの共通点、偏りを認識しました。

- 3、質問力向上

即席のチームワークを作り、自分の意見を伝えたり、意見交換を行う場を設け、

ウミガメのスープなど、真相にたどりつく問題に対し、チームごとに議論、解答を行いました。

どこが問題なのか、バックグラウンドなど

5W1Hを考えて推論し、仮説を立てて質問することが大事であることなどを学びました。



13:00~15:00

議題 「地球温暖化の現在

世界と日本と大分県の自然環境と経済活動」

「地球温暖化防止活動」は手段であり、大きな目標は「地球規模の自然環境の保全」です。カブトムシなど、人間がいることで生きられる生き物がいます。人間を無視せず、環境保全も経済活動にも寄与するためにはどうすればいいか、考える必要があります。

カーボンニュートラルを実現するには「CO2を減らすこと、植林による吸収、技術革新」が必要です。

その中で学生推進員ができることは何か。

豊かな自然環境保全のために「学ぶこと、知ること、考えること、教えること」です。どういことを学びたいか、を考えて、今後の活動をしていく必要があります。

ボランティア活動には限界があります。ボランティアに頼りすぎず、県民が地球温暖化に対してアクションを起こしてもらうことが大切になってきます。つついやりたくなる行動経済学ナッジ理論や損をしたくないプロスペクト理論などを使って行動を促せないか。県民に得した気分させて行動を促していく必要があります。

グリーンアップおおいたデイでは

「環境保全の責任は県民みんな、行動主体も主役も県民みんな
環境問題は自分自身の問題」を伝えることが大事になってきます。
皆に自分ごととらえてもらい、知ってもらうことが大切であることを
この講義を通じて学びました。